



結小だより

- ★自分で学ぶ子
- ★仲よく助け合う子
- ★自分でできたえる子



子どもたちの「宝物」が輝く学校をめざして

校長 中野 由美

10月6日（火）の午後、本校を会場として町の教育研究発表会が開催されます。当日は、多くの先生方が来校され、子どもたちの学ぶ姿を参観していただきます。

本校では、道徳の授業を大切にしています。それは、道徳が知識を覚える授業ではなく、自分自身を見つめ、仲間と考えを交流しながら、人としてよりよく生きることについて考える学びだからです。

私は子どもたちに日頃から、「みなさんの考えや気持ちは、一人一人ちがう大切な宝物です」と伝えています。うれしかったこと、迷ったこと、正しいと思ったこと、なぜだろうと感じたこと。その一つ一つが、その子にしかない大切な宝物です。そして授業は、その宝物を見せ合い、聞き合い、互いに磨き合う時間だと思っています。

昨年度より、教職員は毎週の道徳授業を中心に、「どんな問いなら子どもたちの心が動くだろう」「どのように子どもの言葉を生かそうか」と語り合いながら授業づくりを進めてきました。その積み重ねの中で、子どもたちは少しずつ自分の思いを言葉にし、仲間の考えに耳を傾けられるようになってきました。そして、その姿は道徳の時間だけではありません。自分の考えを発表することや、仲間の言葉を受け止めながら学ぶことが、国語や社会をはじめ様々な教科にも広がっています。互いを認め合い、学び合う力は、子どもたちの豊かな成長を支える大切な力になっていると感じています。

研究発表会当日は、多くの参観者を前に緊張する子もいることでしょう。しかし、私たちが願うのは上手に話すことではありません。自分の考えを自分の言葉で伝えること、仲間の思いにしっかり耳を傾けること、そして学ぶことを楽しむことです。子どもたちには、「研究発表会は“宝物発表会”だよ」と話しています。一人一人の宝物が教室いっぱいに広がり、温かな学び合いの時間になることを楽しみにしています。

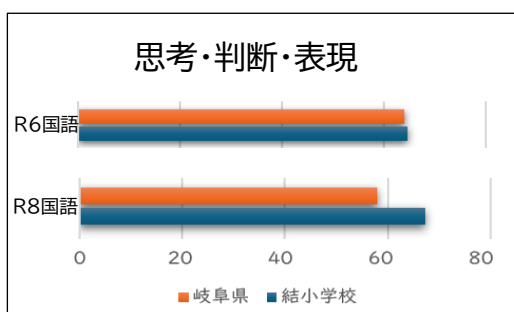
保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動を支えていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちが安心して自分の思いを表現し、互いのよさを認め合いながら成長できる学校づくりを進めてまいります。



結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

全国学力学習状況調査結果より

本校では、昨年度より「40 分授業午前5時間制」を取り入れています。授業時間が短くなることで学力が低下するのではないかとご心配の声もありましたが、授業の進め方を工夫する職員と、授業に最後まで集中しようとする児童の努力が、学力の維持・向上を支えています。全国学力学習状況調査の結果を、令和6年度と令和8年度で比較すると、国語、算数ともに学力の伸びが見られました。例えば、下のグラフは、国語の思考・判断・表現の得点を比較したものです。令和6年度は岐阜県平均とほぼ同じでしたが、令和8年度は岐阜県平均を約10点上回りました。



児童の心を育てることと学力を高めることは、学校教育の両輪です。今後も児童の学力向上につながる授業づくりに努めてまいります。

ご家庭におかれましては、いつも家庭学習への励ましや見届けをしていただき、ありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

がん教育講話



9月10日(木)に、6年生を対象とした「がん教育講座」が行われました。日本人の死亡原因1位であるがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい知識を深め、健康と命の大切さについて主体的に考える力を身に付けることが目的です。当日は、大垣市民病院の医師とがん経験者の方からお話を伺いました。

- ・がんという言葉は知っていたけれど、その仕組みや治療方法については今回改めて知ることができた。がんを予防するために生活習慣で大切にすることがあり、それは自分たちにもできることだと分かった。家族にも伝えたい。
- ・がんになったときは悲しくてつらかったけれど、家族など周りに支えてもらいながら、明るい気持ちで病気を乗り越えた人がいることを知った。毎日の小さな喜びを点にして、その点をつないで人生という線にすることを教えてもらったので、自分も明るい気持ちで、助け合いながら、点を線にしていきたい。

【児童の感想より】



安八音頭練習会



1～4年生が運動会で安八音頭を踊ります。9月16日(水)には、安八華の会の方に、振付を教えていただきました。手の動きが水や月を意味することなどを聞き、美しく踊れるように練習しました。昨年度に引き続き今年度も、保護者や地域の方と一緒に踊ります。児童は、多くの皆様と一緒に踊ることを楽しみにしています。